

綾部市都市計画マスタープラン（案）に関するご意見募集結果について

- 1 意見募集期間 : 令和6年2月9日（金）～令和6年2月29日（木）
- 2 提出された意見の件数 : 13件（意見提出者：3人）
- 3 意見及び意見に対する市の考え方

（パブコメ）

番号	提出者	区分	意見の内容（要旨）	ご意見に対する市の考え方
1	男性 （市内在住）	（P85～） §7 地域別構想 （P87～） 7-2 中南部地域（綾部地区、中筋地区）	高津町飛行場跡地の活用について（※聞いた話であり定かではないが調べる価値はあるのでは） 高津町にはかつて飛行場があったと聞いたが、その歴史的な遺産を活かすことが地域の魅力向上につながるかもしれない。飛行場跡地を一部観光エリアとして指定し、航空博物館や子供向け施設を整備すれば交流人口が増え、地域の活性化を促進するのでは。活用を検討し、魅力向上と持続可能な発展を目指せるかもしれない。	ご意見いただいたとおり福知山市石原・観音寺・高津町にかけて航空基地があったと記録が残っています。 いただいたご意見については、関係部署と情報共有させていただくとともに、本市の観光振興における参考とさせていただきます。
2	男性 （市内勤務）	（P85～） §7 地域別構想 （P87～） 7-2 中南部地域（綾部地区、中筋地区）	環状道路は府の事業なので、市としてはやれることは限られていると思うが、例えば寺町から田野町の部分は府・市共同で行うなど、いろいろな手立てを講じてでもお願いしたい。府が安場の三叉路に着手されたのは大きな前進である。	いただいたご意見については、関係機関・関係部署と情報共有させていただくとともに、今後の道路整備における参考とさせていただきます。

3	男性 (市内勤務)	(P85～) §7 地域別構想 (P87～) 7-2 中南部地域(綾部地区、中筋地区)	川糸町を中心としたかわまちづくり計画について、船着き場周辺のにぎわいづくりに期待している。 かわまちづくり計画を作るに当たって、幅広く地域の声を聞いてもらいたい。 また、新都市公園や西町タウンなどを含めてまちなかのにぎわいづくりに関して、これからどう進めていく考えか教えてほしい。	いただいたご意見については、関係部署と情報共有し、今後施策を検討する際の参考とさせていただきます。 また、まちづくり方針の実現に向けては、市民や市民活動団体、民間事業者などとともに、今後のまちづくりについて考え、協働で取り組んでいきたいと考えています。
4	男性 (市内勤務)	(P85～) §7 地域別構想 (P87～) 7-2 中南部地域(綾部地区、中筋地区)	四尾山南側のまちづくりについて、何か拠点となる施設がほしい。トレイルランの受付施設でもいいし、防災施設でもいい。文化施設や商業施設など、ひとが集まる、まちの核となる施設の誘致などの考えはどうか。	いただいたご意見については、関係部署と情報共有し、今後施策を検討する際の参考とさせていただきます。
5	男性 (市内勤務)	(P85～) §7 地域別構想 (P87～) 7-2 中南部地域(綾部地区、中筋地区)	高津、井倉の居住環境創出では民間事業者などの協力が必要なため、土地活用の動機付けが高まるよう、土地売買の奨励や道路、上下水道の整備への支援をお願いしたい。	いただいたご意見については、関係部署と情報共有し、今後施策を検討する際の参考とさせていただきます。
6	男性 (市内在住)	(P118) §8 実現化の方策 (P56～) §5 将来目標の設定	都市計画パブリックコメントの評価 8-1 実現に向けての基本的な考え方 (P118) において、「…都市計画マスタープランは長期的な方針であることから、都市づくりの進捗状況を把握し、本市を取り巻く社会経済情勢の変化や市民の意向を踏まえながら、適切に見直しを図っていくこととします。」と記述されている。 しかし、本計画の進行状況等を随時把握し、点検等を行うための基本指標が示されておらず、計画が掛け声倒	都市計画マスタープランは人口や世帯の推移など本市の現状と課題を踏まえ、長期的視点に立った都市の将来像やその実現に向けての都市計画の方向性を示すものです。 本市のまちづくりの基本指標については、最上位計画である「第6次綾部市総合計画」において、分野別の施策に応じた目標指標を設定し、その達成に向けて各種事業を行い、その進捗状況に努めているところです。

			<p>れになることを憂慮する。そこで、§5-2都市づくりの基本目標（P57～58）について、</p> <p>① 基本目標（目標1～5）のそれぞれに即した代表的な評価指標を設定してもらいたい。</p> <p>② 都市計画基礎調査年（5年サイクル）及び都市計画に影響を与える社会事象の変化（災害や想定を上回る人口減等）が生じた際、客観的指標（上記①）を用いて施策の進行状況等につき評価を行い、計画見直しの要否を迅速に把握し、実行してもらいたい。</p> <p>③ 上記①及び②の評価指標や検証結果に基づく計画見直しの要否等を迅速に公表してもらいたい。</p>	
7	男性 (市内在住)	全般 (P119～) 8-2 実現に向けた都市づくりの施策一覧	<p>綾部市都市計画マスタープランの計画期間等 綾部市都市計画マスタープラン（以下、「綾部市プラン」と略す）の計画期間について、「…長期目標として概ね20年後の令和25年度を展望しつつ、概ね10年後の令和15年度までを計画期間とします。」（P118）としているが、「実現に向けた都市づくりの施策一覧」（P119）を見ると、計画期間内に137施策中124施策（90.5%）について推進、支援、検討等を行うと記述されている。綾部市プランが長期的な方針を示す都市計画のいわば羅針盤であるにもかかわらず針の位置（計画の達成（進捗）度）が示されておらず、綾部市プランは「計画のための計画」との印象をぬぐいきれない。そこで、</p> <p>① まず、綾部市プランの上位計画である京都府作成の「綾部都市計画（以下、「府計画」と略す）（平成28年5月策定）において、「本方針は、綾部都市計画区</p>	<p>① 京都府が策定した「綾部都市計画」の計画期間との違いについてはご指摘のとおりですが、本計画案は京都府との協議を経て策定に至ったものです。については府計画の齟齬により地方交付税、補助金、起債の交付等に関して影響はないものと考えています。</p>

			<p>域における概ね20年後の都市の姿を展望した上で、都市計画の目標、土地利用の方針等を定め、概ね10年以内に優先的に整備する都市施設等の整備目標を示すものである。」(P1)とされ、概ね令和18年が府計画の終期(展望期間の終期)に当たる。</p> <p>一方、綾部市プランの計画期間は令和15年までとしており、府計画の展望期間の終期(令和18年)との整合性を確保したものと推される。さらに、綾部市プランにおいては、府計画との齟齬を埋めるため展望期間の終期に7年追加した令和25年を展望期間としており府計画との乖離(7年)が著しいものとなっている。</p> <p>このような計画策定が許容されるのか、見解いかん。</p> <p>また、綾部市プランは府計画のコピーである必要はないと思うが綾部市プランにより施策が執行される過程において府計画との齟齬によって地方交付税、補助金、起債等々の交付決定等に影響が出ないとも限らないので憂慮する。見解いかん。</p> <p>② 綾部市プランの中には施策の性格上、京都府等他機関との調整を要する施策がずいぶん多い。それら施策は上級機関等との協議や調整結果を踏まえ展望期間を計画化したものか、問う。</p> <p>また、市民は「施策の推進、支援、検討等を行う」と記載された施策につき、期中に一向にその進捗度を知る機会がない。適期に当該施策の状況説明(公表)を行ってほしい。</p>	<p>② 国や京都府と協議の上、本計画の策定作業を進めています。</p> <p>また、本計画ではテーマごとに短期、中期、長期的に取り組む主要施策を列記しています。総合計画の改定や社会情勢の変化等を踏まえ、中間検証を実施し、その検証結果について公表を行う予定です。</p>
--	--	--	--	---

			③ 本上記2の施策中、計画期間を令和15年とした施策については、節目に施策の進捗度を示してもらいたい。(都市計画パブリックコメントの評価(P1)と関連)	③ 計画の中間期や最終期などの節目となる時期において、各施策の実施内容・進捗状況を検証した上で公表を行う予定です。
8	男性 (市内在住)	全般	<p>コンパクトシティー構想の見直し 綾部市都市計画マスタープラン(以下、「綾部市プラン」という。)を通読して、市民が日常感じている綾部の将来見通しとは大分違和感があると思う。</p> <p>綾部市プランは、前期計画以降、綾部都市計画(以下、「府計画」と略す)等上位計画においてコンパクトシティー構想が提案され、推進されてきたと承知している。綾部市プランに基づき整備された綾部駅周辺の大規模公共施設や市民病院等については、コロナ禍中のワクチン接種等の需要が重なり施設稼働率も良好に推移していると思う。</p> <p>しかし、綾部市民の消費生活を見ると、綾部駅周辺の中心市街地や市内の大規模集客施設に足をはこぶ者は少なくはないが、舞鶴市及び福知山市の郊外に展開し広大な駐車場を付置した大規模集客施設等への入込みが相当数に上がることもまた事実と思う。中心市街地の衰退は人口や新規住宅戸数の減少等に現れる。</p> <p>時代の変化に即応した街づくり推進の観点から、まず、JR山陰本線及び舞鶴線の高架化等中心市街地における交通ネックの解消が喫緊の課題である。しかしその推進に巨額の支出を要し、市財政の硬直化を招くことから相当の困難を伴い最早、現実的ではない。</p>	1 ① いただいたご意見については、関係部署と情報共有し、今後施策を検討する際の参考とさせていただきます。

			<p>また中心市街地振興策に係る過去、20年間の投資によって所期の効果が発現したとは思われず（客観的指標をもって市民に説明されていない）かつ、今後とも中心市街地への重点投資（振興事業等の強化）が人口の集中、増加に繋がる可能性は低いと思われる。</p> <p>そこで、</p> <p>1 ①上林、山家、志賀郷、物部、鍛冶屋・小畑、於与岐等の旧村市街地の活性化に重点をおいた街路、上下水道等公共施設の整備や遠くの大規模集客施設に行かなくても地区内で用が足りる販売施設（いわゆる「なんでも屋」。地区集会施設を再整備し併用）整備や、②「なんでも屋」に観光客等来訪者の案内・休憩スペースを設けるなど、「外まち」の振興施策を強力に推進してもらいたい。見解を問う。</p> <p>2 ①過去20年間に、綾部市の中心市街地に対し道路整備や商店街振興等を目的として投じられた事業費総額とその効果及び中心市街地の人口の推移を問う。</p> <p>②今次綾部市プランは府計画や綾部市総合計画の枠内にとどまっている。本市全域が過疎地域に指定された今、今次のような綾部市プランには光明が見えてこない。人口推計から綾部市人口が2万人を切り市制の在り方について論議される日が近未来に迫っていると思う。いまこそ、中心市街地の内外を問わずともに賑わいを取り戻す多極型農村都市の構築を目指すべきと思う。少し時間を設け、上位計画の改定を待ち、本プランが再提案されることを願う、見解いかん。</p>	<p>2① 中心市街地の人口推移につきましては、都市計画区域内地区別人口の推移（P19）に示したとおりです。</p> <p>また、施策の性質上、事業ごとの効果測定は困難であることから、本件について回答できかねることを御理解ください。</p> <p>② 今後、本市の最上位計画である「第6次綾部市総合計画」をはじめ関連計画の改定等があった場合や本市の人口動態を始め社会情勢の変化、さまざまな課題に対応するため、必要に応じて本計画の改定を行うこととしています。</p>
--	--	--	---	--

9	男性 (市内在住)	(P62～) §6 全体構想 (P103～) 7-4 中北部地域(吉美地区、西八田地区、東八田地区)	<p>工業団地の開発</p> <p>綾部市都市計画マスタープラン(以下、「綾部市プラン」という。)において、近く人口は3万人を割り、綾部市プランの展望期間終期(令和25年)ころの令和27年には2万5000人(社人研推計)を下回るとされている。(P59)</p> <p>人口の減少は、やがて「市制」の維持を困難にしました、住民税等のもとより地方交付税の減収をもたらし、財政の硬直化を来たしかねない等の懸念事項と思う。</p> <p>しかし、綾部市プランを通読して、人口減による税収不足を、工業団地の更なる拡大によって得られる団地区画の販売収入と法人住民税等の税収増によって補填しようとする市の意志が透けて見える。</p> <p>1 工業団地が所在する丘陵及びその周辺には古代の方墳等の文化財や天文館、老人福祉施設が所在し、工業団地区域を含め風致等の維持に最も配慮すべき地域に当たる。今次の綾部市プランは工業団地の拡大(方針)を滲ませており、工業団地周辺の人文遺産や風致の好風を台無しにするおそれがある。このような方針(計画)は到底、容認できない。見解いかん。</p> <p>2 綾部の周辺市において工業団地造成が進み、中長期的にみて綾部市内の工業団地の立地優位性は突出してはいない。加えて工業団地で生産される製品について一般論として、円の為替相場等の動向によっては生産・出荷額の下落、低迷を来たし団地の荒廃や移転等々の悩ましい問題が発生するおそれなしとしない。また、現状にお</p>	<p>高速道路のインターチェンジからのアクセスが高いことなど、多くの面で産業団地としての適性に優れている地域を新たに産業創出ゾーンとして設定しています。</p> <p>本市の人口減少という喫緊の課題に対して雇用の場の創出が求められることや、地域経済への波及効果が大いことなどから総合的に判断し設定したものです。</p> <p>しかし当然のことながら古墳等の文化財や景観など、本市の歴史的な財産も大切に守る必要があります。また地域住民の方々の安全性や利便性の確保にも努めなければなりません。</p> <p>新たに産業団地の整備計画を進める際には、住民の皆様の意向にも十分配慮し、住民生活と調和のとれた形で事業を進めていく必要があると考えております。</p>
---	--------------	---	--	---

			<p>いても。①地元従業員の優先採用に係る課題や、②極めて多い通勤車両による温室効果ガスの排出問題、③国道、府道等幹線道路のラッシュ時間帯の交通問題等、憂慮すべき山積みの問題の解消すらなされないまま更なる団地開発方針を既定化するプランは余りにも無責任と考える。見解いかん。</p>	
10	男性 (市内在住)	(P82～) 6-6 都市防災の方針	<p>ライフラインの耐震化</p> <p>近年、震度7を超える大地震が頻発している。本年1月に発生した能登半島地震では上水道の復旧が遅れ、途方に暮れる被災者のテレビ映像に涙した市民も多いと思う。</p> <p>綾部市都市計画マスタープラン案（以下、「綾部市プラン」という。）から本市における上水道施設の防災対策（方針）をみると、「水道や下水道施設の耐震化を推進するとともに、電気や通信施設の耐震化を事業者に要請し、災害時におけるライフラインの確保に努めます。」（P83）と記されているのみで、期中の施設整備計画（P119～121）においても耐震化に係る事業等につき特段の掲記はない。そこで</p> <p>1 水道の耐震化は管路及び浄水池・配水池等のバック施設の耐震化（震度7以上）を同時に行わないと、大地震発生時の断水等の被災防止対策にはならない。市内のそれら施設の耐震化状況を問う。また、</p> <p>2 施設の耐震化が十分ない場合、耐震化の方針を綾部市プランに盛り込んでもらいたい。見解いかん。</p> <p>3 同様に下水道につき、その設置が推進されている合</p>	<p>都市計画マスタープランは、都市計画やまちづくりの課題等を解決するための基本的な方針を定めるものとして作成しています。</p> <p>この都市計画の方向性に沿って、関連分野において計画が策定され、その中で各種施策や事業について設定し、進行管理が行われるものです。</p> <p>水道事業の方針につきましては、令和2年版「綾部市水道事業ビジョン」第3章 水道事業の現状分析と課題、3.4 危機管理への対応は徹底されているか（強靱）（3）危機管理の状況（P33）に基づき事業を推進しています。</p> <p>合併処理浄化槽につきましては、本体がFRP（強化プラスチック）で頑丈に出来ているため、液状化など地質の影響を受けて沈下や浮上などの可能性はあっても、本体そのものが壊れる可能性は低いと考えています。</p>

			<p>併処理浄化槽について震度7以上の地震に耐え得るものか、問う。耐震化が十分でない場合、耐震化補強の推進方針について綾部市プランに盛り込むべきではないか、見解いかん。</p> <p>4 能登半島地震では、浄水場や水道管等の被災によって本年4月以降も給水支援が必要との報道がなされている。現在、地震予知は不可能という知見や、頻発する大地震の教訓を踏まえ、本市において被災した水道施設が復旧するまでの間、被災現場で蓄電池等によって給配水が可能な機動力を備えかつ、小型トラックに積載可能なタンクの開発、備蓄の方針も綾部市プランに盛り込んでもらいたい。</p>	
11	男性 (市内在住)	全般	<p>中心市街地活性化のための大型店の立地調整</p> <p>近年、綾部市近郊の福知山市・舞鶴市の郊外に大型店舗が展開し、モータリゼーションの進展と相まってそれら店舗を利用する綾部市民も多いと思う。</p> <p>綾部市内の中心市街地を踏査すると商店街の店構えは立派になったものの、街通りは閑散としておりシャッターを下ろしている店舗も目立つ。また、中心市街地に空き家や老朽家屋は少ないとはいえず、綾部市の人口は減少を続け、中心市街地の賑わいは昔語り。輝いていた往時を懐かしむ市民も多いと思う。</p> <p>一方、綾部駅周辺には様々の公共施設の整備が進められ偉観を呈している。しかし中心市街地において、市民は老朽家屋等の更新に負担力があるとはいえない。綾部市においては中心市街地における官民格差が露になって</p>	<p>ご質問いただきました消費に関する動向の把握、調査は行っていませんが、ひと・モノの流れも一定勘案し、策定に至ったものです。</p> <p>大型商業施設の立地等につきましては、周辺の道路状況や既存店舗との競合など、地域に大きな影響をもたらすことが想定されることから、その誘致については慎重に検討すべきであると考えております。</p> <p>いただいたご意見については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>

			<p>いる。</p> <p>今次の綾部市都市計画マスタープラン（以下、「綾部市プラン」と略す）を通読して、綾部都市計画（以下、「府計画」と略す）等上位計画に縛られ、中心市街地の活性化や人口減少抑止への処方箋（方針）が的確とは言えず、むしろ反対方向に向かっている印象の方が強い。そこで、</p> <p>1 綾部市プランは、都市計画の観点から綾部市民の消費行動について、市内中心市街地の店舗及び他市大規模店への依存度等を把握、調査し、同結果を踏まえた上、策定されたかどうか、問う。</p> <p>2 綾部市の中心市街地郊外に大規模店が出店した場合、中心市街地の商店や周辺住民の消費行動に大きな影響が生じ、中心市街地の空洞化が一層、進むと考えられる。</p> <p>綾部市の大規模店の出店調整に関する今後の調整方針を綾部市プランに明記してもらいたい。見解いかん。（上記の方針につき、上位計画との齟齬が生じる場合には早急に京都府及び近隣都市との協議、連携を図った上、本案を上程してもらいたい。）</p>	
1 2	男性 (市内在住)	(P57～) 5・2 都市づくりの基本目標	<p>ゼロカーボンシティの推進、実現</p> <p>本市は、綾部市都市計画マスタープラン（以下、「綾部市プラン」と略す）において「省エネルギーの推進、再生可能エネルギーを活用した取組などにより、ゼロカーボンシティの実現を目指す」（P58）とし、「2005年ゼロカーボンシティ」の実現のため、カーボンニュートラ</p>	<p>都市計画マスタープランは、都市計画やまちづくりの課題等を解決するための基本的な方針を定めるものとして作成しています。</p> <p>この都市計画の方向性に沿って、関連分野において計画が策定され、その中で各種施策や事業について設定し、進行管理が行われるもので</p>

			<p>ルを推進するとともに、豊かな自然環境と調和を図りながら、本市に賦存する再生可能エネルギーの有効活用を進めます」(P78)と同プランの全体構想をうたっている。また、本綾部市プランに先立ち、市は令和3年9月、「2050年ゼロカーボンシティ」宣言を行うとともに「綾部市脱炭素ロードマップ」作成し、本プランによってそれら施策を推進しようとしている。そこで、</p> <p>1 綾部市プランでうたわれているように本市は豊かな自然環境に恵まれている。その一方で、国道27号線沿線の丘陵地で工業団地が立地し、市はさらなる団地開発を企図しているように推され、製品製造過程で排出されるCO₂や自動車交通によるCO₂の排出が一層、深刻さを増すことは火を見るより明らかである。</p> <p>① ゼロカーボン目標はそれ自体、否定されるものではない。達成年を2050年と仮定し、代替再生可能エネルギー源として風力発電および太陽光発電を活用する場合、毎年の設置概算額想定(単価は全国標準ベース)はどれくらいになるか、問う。</p> <p>② 向こう10年間の市の補助金等公費負担分の総概算額想定を問う。</p> <p>2 ゼロカーボンシティの実現はカーボンニュートラルの達成でゴールとなるが、綾部市プランは再生可能エネルギーに偏った施策と思料される。施策の推進にあたっては、再生可能エネルギーに偏ることはなく、通勤、買い物等自動車から公共交通への切り替えの啓もうや、市職員のマイカー通勤の自粛を一層、推進してもらいた</p>	<p>す。</p> <p>ゼロカーボンシティの推進等につきましては、令和5年度に策定を進めている「綾部市エネルギー環境基本計画」に基づき事業を推進することとしています。</p> <p>いただいたご意見については、関係部署と情報共有し、今後施策を検討する際の参考とさせていただきます。</p>
--	--	--	--	---

			<p>い。なお市職員の通勤交通費の支給は公共交通、自家用車のいずれを基本としているか、民間企業の公共交通の利用促進の参考のため問う。</p> <p>3 再生可能エネルギーとして風力発電や太陽光発電の導入を推進しても、そもそも目指す年までにカーボンニュートラルを達成できるか、疑問がある。</p> <p>① 風力発電について1単位（メガワット）当たりの発電に広大な面積を要する。</p> <p>綾部市のように海浜や荒涼地等の適地がないところでは森林の伐採による発電用地の確保が必要になり、自然破壊や景観破壊、騒音等々、様々な支障が生じると思料される。太陽光発電についても風力発電と同様に、広い面積を要し現に自然景観を著しく損なっているものや豪雨等による山腹崩壊や汚水の流失など様々な課題が生じていることを市民は知っている。</p> <p>綾部市での風力・太陽光発電とも気象条件等からも適地ではなくその推進には反対する。しかし綾部市民の賛同を得たと言うのであれば、あらかじめ広く市民に設置場所の開発の適不適、発電能力と土地の必要面積、コストと減価償却等々の発電施設の設置や更新等についても十分啓発してもらいたい。見解いかん。</p> <p>② 太陽光発電は個人住宅で設置されるケースが多いとみられるが、その設置や維持管理等のコストを考えると、施設の更新にも配慮が必要と考えられる。将来、個人住宅に対する太陽光発電等の補助等を行う場合には、費用対効果や減価償却等に関する情報提供に十分</p>	
--	--	--	---	--

			留意し、市税が無駄に使われることのないようそれら情報を公開してもらいたい。見解いかん。	
13	男性 (市内在住)	全般	<p>多様な会社群の立地推進</p> <p>綾部市における若者の大都市への流出や高学歴化による若者の職業選択の幅が拡大したこと等によって一旦、綾部を離れると戻ってこなくなり人口の減少や高齢化に拍車をかけるようになって久しい。さらに近年、綾部市が行ったアンケート調査等からも、綾部から出ていきたいと思う若年層が増加傾向にあると思う。このような状況が続くと、30年後には人口2万5000人を割ることは各種統計資料等からみても否定できない。市財政もその硬直化をもたらし、財政力指数が0.4を割り込む事態に至ることもあり得ないことではない。</p> <p>そのため今次、綾部市都市計画マスタープラン（以下、「綾部市プラン」と略す）は将来人口の減少を見通しつつ、工業団地の拡大と中心市街地の活性化によって法人税収等の増加により綾部の再構築を図る、まさに市制の存続をかけた都市計プランであることは了知できる。</p> <p>しかし綾部市において府市による工業団地の造成・推進と中心市街地の活性化施策等が円安の追い風によって一定の進捗をみているが、果たして人口を横ばいに維持し財政力指数の向上をもたらしたか疑問。そもそも論からやり直さないとこの町はやがて市制の維持すら困難になる。計画を読んで市民はそのような懸念を抱いたとも</p>	<p>都市計画マスタープランは、都市計画やまちづくりの課題等を解決するための基本的な方針を定めるものとして作成しています。</p> <p>この都市計画の方向性に沿って、関連分野において計画が策定され、その中で各種施策や事業について設定し、進行管理が行われるものです。</p> <p>いただいたご意見については、関係部署と情報共有し、今後施策を検討する際の参考とさせていただきます。</p>

			<p>う。</p> <p>綾部の工業団地について、日本海の重要港湾・舞鶴湾に近く、高速道路の立地の優位性を重要視した結果、法人の利益は近年の円安から増収傾向に推移していると思われるものの、視点を変えると業態があい似通っており一般市民や、中高生の将来の希望職種とはだいぶ異なっているのではないかと思う。綾部市民や学生が競って採用試験に臨み、綾部で家庭を持ち生活したいと思うような多様な業種への転換が必要と思う。そのため、</p> <p>1 経済情勢の変化によって工業団地から撤収する企業跡地の活用につき例えば、アプリの制作等を行うソフト関連会社群や服飾や商品デザイン等を手掛ける多様な会社群等、時代にマッチし他都市にない静かな環境のもとで稼働できる団地に転換すべきと思う。見解いかん。</p> <p>2 同様に、綾部市北東部や西北部等の綾部市の外延部等で、優れた景観のもとで基盤整備が容易く公害やストレスが生じにくい各種設計や創作作業等々のソフト産業が立地するコンパクトな会社群の団地化を推進し、魅力ある綾部の就労環境を全国にアピールしてもらいたい。見解を問う。</p> <p>併せ、都市計画上の法的手続きや他法との土地利用上の調整を要する諸問題については速やかに国及び京都府等上級機関との連携、協議を図り、要すれば上位計画等の改正を協議するなどして、綾部市発展の礎を築いてもらいたい。見解を問う。</p>	
--	--	--	--	--